資料３

令和６年度　防災対策事業報告

災害等対応の報告

○　令和７年２月３、４日の大雪被害対応

発達した低気圧の影響により、4 日 9 時までの 12 時間降雪量は帯広市街地で 120 ㎝となり、国内の 12 時間降雪量の記録を更新。十勝管内各地でも記録的な大雪となった。

積雪により、学校の屋内練習場や農業用ビニールハウス倒壊など物的被害 22 件、除雪時の転倒など人的被害 7 件、その他 1 件。また、高速道路 1 路線、国道 4 路線が通行止めとなり、JR や路線バスが運休、航空機が欠航となるほか、幹線、生活道路ともに道路交通に大きな支障が生じた。

雪害対策本部を設置し、関係機関と連携し対応。

防災事業の報告

１　災害に強い都市基盤整備

（１）耐震改修促進計画

○　特定建築物の耐震化率（令和５年度末）

８７．８％（内訳：総数６７２棟　耐震５９０棟　非耐震８２棟）

○　木造住宅への耐震化支援

無料耐震簡易診断、耐震診断補助金、耐震改修補助金、旧耐震住宅建替え補助金、旧耐震住宅除去補助金

（２）災害対応に配慮した道路整備・修繕

○　幹線道路等の整備・修繕

都市計画道路の整備、橋梁・道路ストックの修繕

（３）上下水道の災害対策

○　上下水道インフラの整備

雨水管整備、汚水桝やマンホール蓋の地下水浸入対策

２　防災意識の普及啓発

（１）防災セミナーinとかち２０２４（令和６年７月１９日（金））

場　　　所：ソネビル６階　講習会室
主　　　催：帯広市町内会連合会、帯広市
参　　　加：１１７人
内　　　容：第１部「「いざ」という時の「自助」の重要性～東日本大震災を経験して～」
　　　　　　第２部「おびひろ避難支援プラン」について
講　　　師：第１部　Remieux Life 代表 徳本 里栄　氏
　　　　　　第２部　帯広市危機対策課　主任補　杉浦　章太

（２）**地域防災訓練**（令和６年９月１日（日））

場　　　所：翔陽中学校
主　　　催：帯広市
参 加 者 数：２１９人（一般参加者１２８人、訓練関係機関９１人）
参 加 機 関：北海道開発局帯広開発建設部、陸上自衛隊第５旅団第４普通科連隊、帯広測候所、帯広警察署、とかち広域消防局、帯広市消防団、NHK 帯広放送局、とかち防災マスターネットワーク
訓 練 科 目：住民避難訓練、避難所開設・運営訓練、関係機関による防災資機材等の展示

（３）**防災リーダー研修会**（令和６年１１月２８日（木））

場　　　所：市役所１０階　第６会議室
主　　　催：帯広市町内会連合会、帯広市
参 加 者 数：１７人
内　　　容：第１部　マイ・タイムラインの作成講座
　　　　　　第２部　「冬の備え・帯広市の備え、避難所停電対策」について
講　　　師：帯広市危機対策課　係長　田口　賢祐

（４）**防災グッズ展**（令和７年１月１４日（火）～１７日（金））

場所：市役所１階市民ホール
見学：４００人
展示内容：非常持出品、非常食料、冬の防災用品、家屋転倒防止器具、感染症対策、市備蓄品の展示　ほか

（５）**冬季防災訓練**（令和７年２月８日（土）、９日（日））

場　　　所：開西小学校
主　　　催：帯広市
参 加 者 数：１９０人（一般参加者８４人、訓練関係機関１０６人）
協　　　力：帯広管工事業協同組合、帯広空調衛生工事業協会、（一社）帯広建設業協会、十勝建築災害対策協議会、帯広建築工業協同組合、北海道ＬＰガス協会十勝支部、帯広塗装工業協同組合、北海道コカ・コーラボトリング（株）帯広事業所、（株）伊藤園帯広支店、サントリービバレッジソリューション（株）帯広支店、（公社）隊友会帯広東支部、（公社）隊友会帯広西支部、（公社）隊友会道東連合会女性部、帯広日産自動車（株）、十勝三菱自動車販売（株）、帯広三菱自動車販売（株）、とかち防災マスターネットワーク、とかち広域消防局、帯広市消防団、（株）ズコーシャ、帯広市親子防災講座実行委員会、（株）セコマ、北海道大学（順不同）
訓 練 科 目：給水訓練、応急手当訓練、救助救出訓練、自主防災倉庫資材取扱い訓練、親子防災教室、防災グッズ等展示、防災講話、避難所居住スペース設営訓練、避難所宿泊体験

３　防災体制の充実

（１）災害用備蓄資器材等の購入・更新

［定期的な更新・購入］

○　災害備蓄食（アルファ米）の購入（１２，５５０食）
○　災害備蓄食（サバイバルフーズ）の購入（２，３４０食）
○　液体ミルクの購入（２４０缶　４８人×０．５日分）
○　粉ミルク（アレルギー疾患対応）の更新（２４缶　５４人×２．５日分）
○　紙おむつの購入（７３６枚　幼児用３００枚、高齢者用３８４枚）
○　アルミマットの購入（１，１２０枚）
○　緊急用避難寝具の購入（９００個）※1
○　糞尿凝固薬品の購入（５，６００回分）
○　簡易トイレの購入（３３個）
○　丼容器の購入（４，３００個）
○　使い捨てカイロの購入（１，６００枚）
　　※１：特殊不織布「タイベック」を使用した寝袋型寝具

（２）指定避難所への非常用発電機整備（令和５～７年度）

帯広市の指定避難所５１カ所中、農業センターなど農村部の小規模な避難所とすでに非常用発電機が整備されている避難所を除いた４０カ所に、令和５～７年度の３か年で非常用発電機を整備する計画で、令和６年度は１３カ所に設置した。主に冬季の停電対策として、メインの避難者収容スペースの暖房と補助照明器具用の電力を確保する。

（３）災害時の広報・通信体制の充実

【帯広市地域防災無線の概要】

統制局（統制台：総務部危機対策課）、簡易中継局（広野小学校）、
半固定無線局８２局、車載無線局２５局、携帯無線局１３局　　合計１２２局

○　**地域防災無線の維持管理**（保守点検実施）

○　**Ｊアラート配信訓練**（地震想定、全国一斉訓練）
　　日　　程：令和６年６月２０日（木）
　　対　　象：市内全小中学校、義務教育学校、南商業高校
　　※ほか、国民保護事案を想定したものとして令和７年２月１２日（水）に実施

○　**地域防災無線通信連絡訓練**
　　日　　時：令和６年１２月１８日（水）～ ２０日（金）
　　対　　象：地域防災無線を設置する全施設

○　**防災協定に基づく避難所施設等のＷｉ－Ｆｉ環境整備**（全２０箇所）

○　**緊急情報一斉伝達システムの運用**
　　運用開始：令和２年５月１日
　　登録者数：電話・ファクス　１８８件（令和７年２月１日時点）
　　　　　　　メール　　　　　１，７１４件（同）※うち、６１７件は市職員の緊急連絡用

○　**SNS を活用した情報発信**（令和７年２月１日時点）
　　帯広市公式LINE　登録者数　約３３，１００人
　　帯広市公式Facebook　フォロワー数　約６，５００人
　　帯広市公式X（旧 Twitter）　フォロワー数　約７，２００人
　　Yahoo!アプリ　約４８，５００人
　　　※Yahoo! JAPAN アプリで帯広市を地域設定している利用ユーザー数も含む

（４）自主防災組織の育成等

○　自主防災組織の結成・育成を推進

○　防災活動助成事業

自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して費用を助成

	助成団体数	助成額
連合町内会	6団体	上限15，000円
単位町内会	34団体	
合　計	40団体	573，661円

※令和７年３月末見込み額

○　防災講師派遣事業

自主防災組織等が実施する防災研修会や訓練等に対して講師を派遣

実施団体：２３団体、　参加人数：７０９人　（令和７年３月末見込み）

○　職員による防災出前講座の実施

実施団体：６８団体、　参加人数：１，８８０人　（令和７年３月末見込み）

○　親子防災講座の実施

実施回数：５９回、　参加人数：４，７６４人　（令和７年３月末見込み）

（５）災害時要援護者対策

○　災害時要援護者の登録状況

１，３４４人が登録、うち２５９人（１９．３％）が個別計画を作成

※上記は、おびひろ避難支援プラン改正前制度に基づく数値。

（令和６年１２月末時点）

○　個別計画作成協議会の設置状況

１１連合町内会（むつみ、大空地区、やまと、西帯広、西帯広ニュータウン、大正、広陵、柏林台、稲田地区、新柏林台、緑ヶ丘の各連合町内会）、１３単位町内会の合計２５の地区で設置　（令和６年１２月末時点）

（６）市職員訓練

○　避難所運営訓練の実施

参加者：帯広市職員３７人　※令和２年度から延べ４８２人に実施

会　場：ソネビル６階講習会室

日　程：令和６年６月１４日（金）午前、午後（各３時間）

内　容：避難所運営ゲーム「Doはぐ」、避難所で使用する備蓄品の展示を実施

○　情報連絡室運営訓練の実施

対象者：総務部危機対策室職員７人、各部情報連絡責任者１０人、情報連絡員１０人

会　場：危機対策課執務室他

日　程：令和６年７月３日（水）９時～１１時

内　容：市内で震度７の地震が発生し、停電が発生、市庁舎では非常用電源が作動し、ネットワーク回線が使える想定で、各部の情報連絡責任者や関係機関と、防災無線や衛星電話などを使用して、災害時の通信手段や体制を確認した。

○　避難所の防災倉庫研修等の実施

参加者：帯広市職員５０人
会　場：帯広小学校
日　程：令和６年７月３０日（火）午前、午後（各４０分）
内　容：避難所に設置してある防災備蓄倉庫及び自主防災倉庫の中身を確認し、小型発電機や非常用発電機の操作訓練を実施。併せて、担当している避難所の施設管理者との顔合わせを行い、施設や防災倉庫を確認した。

○　避難所開設訓練の実施

①地域防災訓練前段
参加者：帯広市職員３７人
会　場：翔陽中学校屋内運動場他
日　程：令和６年９月１日（日）８時～９時
内　容：実際に避難所となる施設において、避難所開設時の受付から受け入れまでの流れほか、備蓄倉庫で備蓄している資機材に関する講話・訓練を実施

②冬季防災訓練前段
参加者：帯広市職員３１人
会　場：開西小学校屋内運動場他
日　程：令和７年２月８日（土）１２時半～１３時半
内　容：実際に避難所となる施設において、避難所の展開方法や非常用発電機等の操作、給水方法に関する講話・訓練を実施

（７）防災協定の締結

○　令和６年度中の協定締結は無し
協定終了は３件

協定締結数	自治体相互応援協定	２
	道が締結し市町村も含まれる協定	３
	帯広市が締結した協定	７９